

第5章 将来像の設定

5. 1 将来の事業環境

現在、本市の人口は年々減少しており将来ともにこの傾向は続くものと思われ、事業収入が減少することになります。

また、給水量の減少に伴い事業規模の適正化・効率化を図っていく必要があります。

現有の水道施設、管路も竣工後長年を経過し、老朽化しているものも多く耐震性に欠ける施設もあり、更新、耐震化の必要のあるものが多くなっています。

水源は、硝酸態窒素やクリプトスポリジウム等の対策、水源上流域の開発による水源汚染対策の必要性があります。

管理・住民サービス面では水道関連職員の減少という状況があり、人材の育成を行い将来にわたる組織体制の維持が必要となっています。

5. 2 基本理念

上記のように、本市水道事業を取り巻く環境は厳しいものがありますが、これらの諸課題に的確に対応し、市民生活に不可欠なライフラインである水道を持続し、将来にわたって市民に良質な水を安定供給できる水道を目指さなければなりません。

第6次枕崎市総合振興計画では、①水源の確保、②市上水道施設の改良整備と経営の健全化、③地域水道等の施設整備と市上水道への編入等の施策により「良質な水の安定的な供給」を行うことを目標としています。

この目標を踏まえ、水道ビジョンでは「良質な水・安定供給いつまでも」を基本理念として設定します。

